



**①高い高い**

子どもの大好きなあそび。喜ぶことで楽しく感じ、また、やりたいという気持ちを起こさせます。



**⑦足跳びまわり**

親は両足を開いて座わり、子どもはその足の上を両足踏み切りで跳び越えて、親の背後をひと回りします。こきたら、片足跳びや横跳び、後ろ跳びにも挑戦します。

# 親子ふれあい体操

## 食べて、動いて、よく寝よう!

早稲田大学人間科学学術院 教授/医学博士 前橋 明  
〒359-1192 所沢市三ヶ島2-579-15 TEL&FAX 04-2947-6902

か かんがる子  
が がんばる子  
ん やさしい子  
さ ふうする子  
く ふうする子  
未 未  
来 来  
づ づ  
くり くり

**体操で育つもの** 巧緻性や平衡性、敏捷性などの調整力、筋力、空間認知能力、回転感覚や逆さ感覚、支持感覚の向上、親(保護者)と子のコミュニケーションづくりと情緒の開放、感動体験

部屋の中で行うときは、窓を開けて風通しをよくして行いましょう。体操が終わったら、手洗いやうがいをして、汗をしっかりとふくようにしましょう。では、親子ふれあい体操を紹介してみます。

**②スーパーマン**

親は、子どもの胸とももに手をあてて、子どもを持ち上げます。移動しながら、子どもを上下させるように動かします。



**③メリーゴーラウンド**

子どもを抱っこして腰と背中を手で支え、脇で子どもの足をしっかりと挟み、クルクル回ります。上下させたり、回る方向も変えてみます。



**⑥逆さロボット**

子どもは、逆さになって、親の足の甲の上に、手を乗せます。親は、子どもの両足首を持ち、少し引き上げて歩きます。

**⑤手おし車**

子どもにとって、腹筋や背筋、腕力を使うダイナミックな運動です。前進だけでなく、後ずさりもします。持っている足の高さを低くすると、少し歩みやすくなります。



**④ロボット歩き**

親の足の甲に、子どもが乗り、親子で手を握ってしっかりと動きます。前方や横方向、後ろ方向へと移動します。親が大またで動くと、子どもは大喜び。両足を広げて、またさきだ!

